

第 61 回秋季大会実行委員会からのご案内

第 61 回秋季大会実行委員会 大会事務局長 岡田直人（北星学園大学）

今年の秋季大会は例年よりも 1 ヶ月早く 9 月 21 日（土）～22 日（日・午前）に、1 日半と期間を短縮して北星学園大学（札幌）で開催いたします。現在、ご参加の皆さまにとって実りある学术交流の機会となるよう、準備を進めているところです。

8 月 19 日現在、703 名の方に事前参加の申込をいただいております。口頭発表では 15 領域 42 分科会 201 名、特定課題セッションでは 3 セッション 10 名、ポスター発表では 81 名の申込みをいただきました。韓国からも 7 名の方が口頭発表の予定です。当日参加者を含め、今回も例年通り千人を超える参加者を見込んでおります。

今大会の開催校企画は 2 つあります。一つ目の「若手研究者のためのワークショップ」では、山崎喜比古会員（日本福祉大学）、小澤温会員（筑波大学大学院）を講師として、質的調査と量的調査を組み合わせたトライアングレーション手法に関して、2 人の若手研究者からご報告をいただき、会場との質疑応答・討論、講師からの助言をいただきます。トライアングレーション手法を用いた研究を学びたいという方にお勧めの企画です。

二つ目の「大会校企画シンポジウム」では、「貧困と社会福祉－貧困問題への創造的実践を考える－」をテーマとし、湯浅誠さん（社会活動家）に「格差・貧困問題と民主主義」と題した基調講演をいただいた後、杉岡直人会員（北星学園大学）の進行のもと、櫛部武俊さん（釧路社会的企業創造協議会）、藤田孝典さん（ほっとプラス）、木下武徳会員（北星学園大学）をシンポジストとしてご報告をいただき、コメンテーターの湯浅誠さん、福原宏幸会員（大阪市立大学）とともに討議を深めてまいります。

さて、例年、ここ札幌の 9 月は、長袖や上着が必要なほどの涼しい季節となり、また、全国より一足早く訪れる秋の気配が海や山を美しく彩り、美味しい食材も豊富な季節になります。この秋の実りを皆さまに楽しんでいただけるよう、実行委員会では、北海道の食材や飲み物を豊富に使った情報交換会も企画しております。

会員の皆さまの秋季大会へのご参加を、初秋の涼しい札幌で、北海道の幸とともに大会実行委員会一同、心よりお待ちしております。